

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スタートアップ			
○保護者評価実施期間	令和 7年 12月 2日		～	令和 7年 12月 12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数)	15名
○従業者評価実施期間	令和 7年 12月 2日		～	令和 7年 12月 12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 1月 19日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもたちが通所を楽しみにしている。	・学業時は高学年、低学年に分けて、それぞれに合わせた活動を取り入れて行っている。 ・長期休暇時は職員だけでなく、子どもたちが主体的に活動を考え取り組んでいる。外出先での体験等の活動を取り入れ公共でのマナー、お金の払い方などを学んだり、様々な経験ができるように取り組んでいる。	・長期休暇に限らず平日も屋外での活動を増やし、公共の場での過ごし方やマナー、交通ルールを学ぶ機会を設けていく。 ・成功体験を積み重ね、出来たという喜びを増やすため、ミニ発表会など、周囲や保護者に成果を認めてもらえる機会を設ける。
2	・保護者様との連携、情報共有。	・保護者、職員間でLINEのグループ機能を活用し、連絡事項、子どもたちの様子等の共有を行っている。可能な限り子ども達の利用中のイメージがつかやすいよう情報を共有している。	・子ども達の表情や姿をより分かりやすく伝えるために、保護者様へ申し送りを行う際には、写真や動画を見ながら行うことで、利用中の様子を共有する。 ・保護者様が活動の様子を見学できる日を検討する。
3	・専門的支援の実施。	・専門職(当事業所では保育士)が、子どもたちが得意なこと、好きなこと、楽しめるような内容を取り入れて広げている(学校で出来て困らないこと、普通の生活で出来て困らないこと)。 ・小集団で身に付けたことを他者の前で発表出来るようにして、さらに強みに繋げて自信が持てるように支援している。	・子どもたちが主体的に行動できるように専門職としての知識をさらに増やしていく。 ・子どもたちの様子を全職員に共有し、専門的支援以外の場面でもチームとして支援していく。
4			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員の育成の充実。 ・子どもに対する家族の対応力向上のための「ペアレントトレーニング」等や家族が参加できる研修の場の提供及び情報提供。	・ペアレントトレーニングは職員のスキルが不十分で実施できていない。研修や情報提供の取り組みも同様。	・ペアレントトレーニングの実施方法について学習し、スキルを身に付けた上で実施を視野に入れていく。 ・今後もアンケートの意見を参考にしながら保護者参加型の行事を行い、情報提供、情報交換の機会を作っていきたい。
2	・活動を見ていただく機会が少ない。	・保護者参加レクリエーションでは見ていただく機会があるが、年に一回である。	・保護者が活動の様子を自由に見学できる日を検討する。
3			